

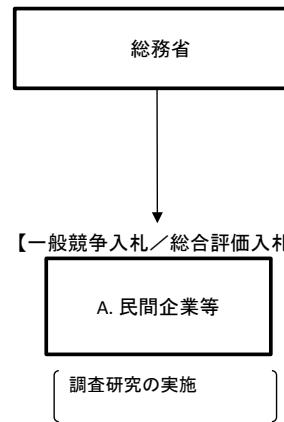
平成25年行政事業レビューシート

(総務省)

事業名	周波数オーケションの企画及び実施関係経費		担当部局庁	総合通信基盤局		作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	電波政策課		課長 竹内 芳明				
会計区分	一般会計		政策・施策名	V-4 情報通信技術利用環境の整備						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第69号		関係する計画、通知等	「『光の道』構想に関する基本方針」(平成22年12月14日)、「周波数オーケションに関する懇談会報告書」(平成23年12月20日)、「日本再生戦略」(平成24年7月31日閣議決定)						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	将来的な周波数割当てにおいて電波資源の効率的な配分を図るため、諸外国における周波数オーケションの動向調査及び分析等に係る調査を行う。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	第4世代移動通信システムの具体的なサービスの動向調査や、諸外国においてオーケションが与えた影響等の調査・分析等の実施、及び、公共セクター等が関与したオーケション制度の活用事例の調査等を行い、我が国における新たな電波の割当方式の見直しの際に有益となり得る情報の整理を行う。									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求				
	当初予算	—	—	—	37	0				
	補正予算	—	—	—	0					
	繰越し等	—	—	—	0					
	計	—	—	—	37	0				
	執行額	—	—	—						
執行率(%)	—	—	—							
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)			
	本事業は、我が国における新たな電波の割当方式の見直しのために調査を実施するものであり、成果指標を数値化することは困難		成果実績		—	—	—			
			達成度	%	—	—	—			
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込			
	新たな電波の割当方式の見直しの際に有益となり得る調査研究の実施件数		活動実績 (当初見込み)		—	—	—			
単位当たり コスト	17.65 (百万円／件)		算出根拠	調査研究に係る費用(35.3百万円) ／ 調査件数(2件)						
平 成 2 5 ・ 2 6 年 度 予 算 内 訳	費 目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由						
	諸謝金	0.9	0	平成25年度をもって事業終了。						
	委員等旅費	0.5	0							
	庁費	35.3	0							
	計	37	0							

事業所管部局による点検													
	項目	評価	評価に関する説明										
国 必 要 投 入 性 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	電波は有限希少な資源であり、その利用を各人の自由に委ねると混信により円滑な通信の疎通ができなくなる等の弊害が生ずるため、国による統一的な電波監理が必要である。諸外国における周波数オーバークションの動向調査及び分析は、我が国における電波の割当の見直し等の検討に資するため、国による統一的な電波監理の一環であり、地方自治体及び民間事業者による実施は困難。										
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○											
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○											
事業 の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本調査研究については、一般競争入札を行う予定であり、競争性や透明性の確保を図っている。										
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-											
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○											
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-											
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-											
事業 の 有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-											
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果のあるいは低コストで実施できているか。	-											
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-											
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-											
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-											
	事業番号	類似事業名											
点検 結果	<p>・周波数割当ては国が実施しており、その見直しに資する本事業についても国が実施すべき事業である。 ・なお、本事業における調査請負先の選定に当たっては、一般競争入札により透明性及び競争性を確保し委託先企業を決定する予定である。</p>												
	外部有識者の所見												
点検対象外													
行政事業レビュー推進チームの所見													
	平成25年度をもって事業終了												
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況													
	初期の目標を達成する見込みであり、平成25年度をもって事業終了。												
備考													
関連する過去のレビューシートの事業番号													
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年								
					新25-0024								

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り
先が何を行ってい
るかについて補足
する)(単位:百万
円)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					